

7. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連		コンビニ（経営者）	・マンションやホテルの建設が始まっているため、昼間の人口が増え、売上増につながる。
		家電量販店（店員）	・総決算セールと引越越しシーズンが重なるため、良くなる。
(近畿)		一般小売店〔花〕（店員）	・卒業、入学シーズンに向けた予約注文が入っている。この時期での予約は早く、本格的なシーズンには更に注文が入ることが見込まれる。
		百貨店（売場主任）	・これから当店はほかの郊外店と同じように縮小に向かう。5層のフロアを4層にし、5階に家具専門店が入るので、新たな集客が期待できる。
		百貨店（服飾品担当）	・必要な物や、化粧品のような買足しアイテムなどは、好調を維持している。また、顧客の買い方が節約志向や価格志向に流れる一方、何らかの提案やエピソードのある商材の動きは決して悪くない。今後の実店舗が生き残るヒントとして、なぜこれを買ってもらいたいのか、発見はあるのかという顧客の心に響く商材や、売り方を開発することで、まだまだ可能性はある。春にかけて、株価が上昇した場合、しっかりとアクションを行えば、顧客の購買意欲が決して低いわけではないため、小売は微増となる可能性がある。
		百貨店（販売推進担当）	・米国の新大統領に対する懸念などはあるが、基本的には、足元の業況は上向いている。化粧品、食料品が顕著に伸びており、昨年や昨年末と比較しても、販売量、来客数共に増加傾向にある。さらに、仕掛け次第ではミセス、キャリアなどの婦人服の動きも活発になってきており、今後もその傾向は続くと思われる。
		コンビニ（経営者）	・コンビニで軽く食事をしたり、ドリンクを飲むといったライフスタイルが定着しつつあるため、ドリンクとフードの売上はまだ伸びることが期待できる。
		衣料品専門店（経営者）	・良くなるように皆で取り組んでいる。
		衣料品専門店（営業・販売担当）	・冬物スーツの受注が遅くまで続いた一方、春物スーツの注文は早い時期から入ってきている。
		家電量販店（企画担当）	・ガスの小売が自由化される直前に、ガス機器の買換えが進んでいく。
		家電量販店（人事担当）	・低い気温が続いており、決算に向けて暖房器具などの処分が進む。
		乗用車販売店（営業担当）	・2～3月は決算のキャンペーンが続く。顧客への乗換え訴求を強めることで、販売増加を見込んでいる。前年比ではなく、1月との比較であれば収益増加が期待できる。
		一般レストラン（経営者）	・春節で海外からの客が増え、学生も春休みで大阪への旅行が増えるなど、集客の見込まれる要因が増えるため、満を持して臨めば、景気はやや良くなる。
		一般レストラン（企画）	・米国の金利引上げで、ドル高、円安傾向となれば、日本の景気も少しは良くなると思う。ただし、円安がもたらすデメリットの大きさが少し心配の種である。
		観光型ホテル（経営者）	・昨年の低迷をようやく脱した模様で、ようやく一昨年の好調時に戻る兆しが出てきている。
		観光型ホテル（経営者）	・大雪で消費が鈍っている反動で、例年よりも良くなると期待している。
		観光型旅館（管理担当）	・米国の新大統領による言動で、一時的に株価が上昇しているため、この3か月くらいは景気が若干上向く。
		旅行代理店（役員）	・店頭では、2～3か月後は夏休みやお盆の旅行受付の最繁忙期に当たるが、商品の品ぞろえや価格は昨年よりも充実しているため、旅行増加への期待感がある。
		タクシー運転手	・年度末にかけて、これからも忙しくなる。
	タクシー運転手	・京都では暖かくなると、桜関連の動きが出てくる。	
	通信会社（社員）	・今年は少し景気も持ち直しているのか、テレビの購入やスマートフォンのリニューアルなどを行う動きが活発になってきている。	
	テーマパーク（職員）	・やはり米国の新大統領就任に伴い、その政権の浮沈が国内経済にも大きな影響を与える。今後、米国内で実行しようとしている経済政策が、どのような形で世界に影響するのかが予測しにくく、先行き不透明である。成功すれば周辺国にも波及するため、何とか成功してほしい。	
	その他サービス〔マッサージ〕（スタッフ）	・オイルマッサージのため服を脱ぐので、いつも寒い時期になると来客数は減少し、暖かくなると増加する。	
	その他サービス〔学習塾〕（スタッフ）	・現時点での6年生が中学校に上がっても続ける可能性があるほか、新学期に向けて新たに入会する生徒が見込まれる。	

住宅販売会社（経営者）	・春のシーズンに向けて、動きが良くなってきている。
商店街（代表者）	・ここ数年、インバウンド以外は同じ傾向が続いており、急に変わるとは考えにくい。
一般小売店〔衣服〕（経営者）	・50店舗の小さな商店街であるが、以前と同じように一所懸命頑張るだけではなく、全ての店が工夫を凝らした経営にほぼ移行していると感じるため、今後も売上を維持できそうな状況である。
一般小売店〔精肉〕（管理担当）	・米国の新大統領就任による影響が、少しはあると予想される。株価などが落ち着くとどのようになるのか、まだまだ不透明だと感じる。
一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・本当に良くなる材料が見当たらない。少し暖かくなってから動きが出てくると予想される。
一般小売店〔衣服〕（経営者）	・数か月後も春物衣料の動きには期待できない。消費者が買物をする場所が確実に変化していることもあるが、新しい購入先が増えていない年配者も、気軽に買物をせず、必要な物を必要なだけ買うという姿勢が強い。
一般小売店〔酒〕（社員）	・販売額は伸びているが、来客数は増えていないため、一過性の動きと予想される。
百貨店（売場主任）	・引き続き、来客数の減少が止まらず、富裕層による売上が中心となっている。
百貨店（売場主任）	・米国の新大統領就任による株価の上昇や、為替の変動などで、景気の上向き動きが一部でみられるものの、消費者の所得には大きな増加が期待できない。生活防衛意識が強まり、ファッションなどのモノに対する消費意欲の減退傾向も大きく変わらないと感じる。さらに、百貨店以上に取引先の苦境が目立つため、回復は期待できない。
百貨店（売場主任）	・恐らく、例年のように気温の影響で春物衣料が動かない。メーカー各社も製造ロットを減らしてくるため、売れ筋商品でも品切れという悪循環になってくる。
百貨店（売場主任）	・インバウンド消費は消耗品を中心に伸び代があるが、依然として国内客の購買行動は慎重である。
百貨店（企画担当）	・今月の売上の内訳は、インバウンドと富裕層である外商顧客による売上で48%を占めている。現状の為替レートや平均株価の水準が継続するならば、引き続き売上の増加が見込まれる。
百貨店（営業担当）	・周辺に新規出店があり、回復の兆しがみられないため、不振が継続しそうである。
百貨店（営業担当）	・高級な海外ブランド品は今後も好調に推移すると思われるが、一般の衣服や日常雑貨などは今後も厳しい状況となる。
百貨店（サービス担当）	・来月もバレンタインフェアを中心に前年実績を確保できる見通しであるが、外国人観光客の減少傾向に歯止めがかからない状況も懸念されるため、いろいろな催事などで集客の確保に努めていく。
百貨店（外商担当）	・米国の新大統領就任以降、米国の政策が全く見通せなくなっている。それに伴い、日本の株や為替の動きも乱高下する可能性が高く、景気も一進一退で推移すると考えられる。
百貨店（マネージャー）	・高額商材の消費回復や、訪日外国人売上の好調な推移については、一過性の動きであることが否めない。売上の大部分を占める中間層の消費が依然として少ないため、全体的に厳しい商戦が続くことが予想される。
百貨店（売場マネージャー）	・春の賃金アップがニュースで取り上げられれば、気分的にも消費が改善すると思われる。現状は不透明な対米貿易の動きなどで、先行きが見通せない。
百貨店（販促担当）	・消費傾向が良くなる具体的な要因は見当たらない。作り手が価格を安易に下げたり、売り手がセールに傾注すると、買上点数は増加せずに客単価だけが低下していく。消費者の吟味に耐えられる商材の提供が重要となる。
百貨店（商品担当）	・米国の新大統領就任以降、円相場や株価の先行きが見えず、景気が不安定な動きになることで、消費も大きく左右される。
百貨店（マネージャー）	・米国の新大統領による言動や、施策の影響が出てくるものが予想されるものの、当面の国内消費は大幅な改善が見込めないと思われる。そのため、可処分所得の拡大につながる今春の賃上げ交渉が注目される。
百貨店（営業企画）	・ダウ平均の2万ドル超えなどの明るい材料もあるが、实体经济や個人消費の改善が実感できない。

百貨店（マネージャー）	・百貨店の中心顧客層である、シニア世代の中間ボリューム層による来店が減少している。高齢化により、ファッションなどの消費からコト消費に移っているほか、将来不安で貯蓄などへもシフトしている。特に、人口の多い団塊世代が65歳を過ぎたため、消費動向の変化は当面続くと予想される。
スーパー（経営者）	・米国の新大統領就任による影響で、景気の先行きが見通せない。チラシの立ち上がり日は来客数が増える一方、それ以外の日は低調な状況となることが予想される。粗利益が稼ぎにくいなか、パートタイマー確保のための時給アップや、電気代などの昨年比でのアップなど、様々なコストアップ要因が収益を圧迫し始めている。
スーパー（店長）	・節分やバレンタイン商戦も前年を下回る見込みで、先行きは厳しくなる。良くなる要素が見当たらない。
スーパー（店長）	・競合各社共に、状況が厳しいことは周知の事実であり、価格競争は避けられない。季節などに合わせた動きも、年を追うごとに縮小傾向であり、それに代わる商機を見出しにくい。
スーパー（店長）	・昨年オープンした競合先の影響が一巡するので、少しは落ち着く予想もあるが、安心することはできない。
スーパー（店長）	・一部のブランド品など、高額商品の動きが良くなってきているが、100円均一ショップなどのディスカウント業態へのシフトが進んでいる。
スーパー（店員）	・雪の影響で短期的には値上がりが進み、厳しくなりそうであるが、暖かい日が続くと客の入りも良くなるので、それほど変わらない。
スーパー（企画担当）	・大きな変化はみられない。
スーパー（企画担当）	・更なる競合店の出店が予想されるなか、価格競争の影響で利益が減少する。また、今年は2月が前年よりも1日少ないため、売上も前年の水準はクリアできない。節分での売上獲得が2月のスタートダッシュとなるので、計画を立てて取り組んでいく。
スーパー（経理担当）	・米国の新大統領が矢継ぎ早に大統領令を出しているが、実現性も含め、今後の行方は不透明である。日本の景気への影響も読めないため、様子見が続く。
スーパー（社員）	・経済情勢や企業収益の悪化が予想されているが、当社のような食品中心のスーパーにはすぐに影響は出ない。これまでの賃金上昇による堅調な消費が、当面は期待できると考えている。
スーパー（開発担当）	・原油価格高騰による物価の上昇で、景気がどう変化するかが問題である。
コンビニ（店長）	・今後数か月で、来客数が急変することはないと思うが、求人を出しても人が採用できない状況が続くなか、店のレベル維持が、来客数や販売量を左右する大きなポイントになる。
コンビニ（広告担当）	・今後も、米国の新大統領による発言などで変化が生まれると思うが、現実の生活面においては、まだ極端な影響は出てこない。先々になって、徐々に出てくるのが予想される。
コンビニ（店員）	・客の買い控えが続くと予想される。
衣料品専門店（販売担当）	・低所得者の給料が上がらない限り、買い控えが続き、値段を抑える傾向も継続する。
家電量販店（経営者）	・消費者が財布のひもを緩める要素が見当たらない。将来不安を払拭する施策や、所得増につながる施策に期待する。
家電量販店（店員）	・特に大きな変動要因がないため、見通しは明るくない。
乗用車販売店（経営者）	・1月にしては、修理用品などが売れたことは確かであるが、中古車を含めた車両が売れないため、今後不安が残る。
乗用車販売店（経営者）	・新車販売や車検、一般修理の予約台数において、今後はあまり変化がなく、現状維持である。
乗用車販売店（販売担当）	・他メーカーが好調なので、その波及効果に期待している。
住関連専門店（店長）	・不穏な世界情勢、政治情勢が続く時は、いつも売上がかなり落ちていたが、昨年末の米国の大統領選による影響はあまりなかった。取引先との会話では、あまりにも先行きが不透明すぎて、世間も様子をみているようだとの声が多い。
その他専門店 [医薬品]（経営者）	・医薬品や健康食品は、対象者がある程度限定されていて、それ以上の動きは期待しにくい。ドラッグストアも、新しい業態のサービスや食材など、消費者の目線で取り組まなければ、既存店売上の積み上げができない。
その他専門店 [食品]（経営者）	・景気が上向いている気はするが、数字などで実感することができない。
その他専門店 [宝飾品]（販売担当）	・為替にも大きな変化がないとすれば、良くも悪くも消費者を引き付ける話題や価格が提示できない。

その他小売 [ インターネット通販 ] (企画担当)	・米国の新大統領を発端とした、世界情勢の不安定さが気がかりである。
高級レストラン (スタッフ)	・気温が低いうちは、客足はあまり伸びない。
高級レストラン (企画)	・婚礼や一般宴会は、4月以降の予約が前年と比較して伸び悩んでいる。一方、宿泊需要は受注客数が好調である。円高などのリスクが顕在化しない限り、インバウンドはこのまま好調をキープすると予想される。
一般レストラン (店員)	・2月に節分があるが、恵方巻の予約がいつもよりも少ないように感じる。今後は特にイベントもないため、外食を控える傾向となる。
その他飲食 [ コーヒーショップ ] (店長)	・朝方の来客数は増加傾向にあるものの、客単価は前年を下回っている。コーヒー1杯分の小銭を握りしめて、レジを待つ客をよく目にする。無駄な購入はしないように、財布のひもを強く締めていると感じる。
その他飲食 [ ファーストフード ] (店員)	・米国の新大統領就任により、今後の景気は良くなると思われるが、2~3か月では変わらない。
その他飲食 [ 自動販売機 (飲料) ] (管理担当)	・新しい商材もなく、かといって悪くなる大きな要因もない。
観光型ホテル (経営者)	・経済的に、これから先が明るくなるか、暗くなるかについて、大きな兆候が全く感じられないので、現状のままである。
観光型旅館 (団体役員)	・耐震工事は来年まで続き、受入可能な客数は少なくなっていく。それに伴い、街全体の経済も現状維持が精一杯である。
都市型ホテル (支配人)	・輸入食材や燃料の価格がいまだに定かでなく、景気動向は先がみえない。
都市型ホテル (スタッフ)	・宴会部門は例年開催の大型宴会が受注できたものの、そのほかに目立った予約もなく、例年並みと予想している。一方、宿泊部門は前年に比べて単価の上昇が見込めず、柔軟な料金設定で予約件数を伸ばしていく。
都市型ホテル (スタッフ)	・客室の改装が3月末まで続くため、収入自体は減収であるが、改装を考慮すると前年並みと思われる。宴会は直近の予約が伸びていないので、やや不透明である。
都市型ホテル (管理担当)	・しばらくは悪くならないと思うが、今までのような勢いは感じられない。また、客室単価についても、これ以上の上昇は難しいように感じる。
旅行代理店 (営業担当)	・引き続き個人消費に上向く兆しがみられない。
旅行代理店 (支店長)	・寒波による公共交通機関のまひなどの報道で、旅行意欲が減退している。天候の影響だけではなく、世界情勢が不安定ななかで消費マインドそのものが低下し、お金を使わないようにする意識が広がっている。
タクシー運転手	・最近寒い日が少なくなっている。寒さが厳しくない日は、駅にいても状況が芳しくない。
タクシー運転手	・企業関係の年始の営業回りなどで収入は増えたが、一時的な動きと考えられる。
通信会社 (経営者)	・米国経済や為替などの動きが、どのように変化するかが流動的である。
通信会社 (企画担当)	・1~3月はアミューズメント機器が売れにくい。
観光名所 (企画担当)	・来場者数には若干の回復がみられるものの、安定していない。しばらくはこの状態が続くと考えている。
遊園地 (経営者)	・国内外の経済情勢が変わる要素は見当たらず、客の様子からも変化が感じられない。
競艇場 (職員)	・全国規模で発売されるG1競走も、ほぼ横ばい状態で、急激な変化はみられない。
その他レジャー施設 [ イベントホール ] (職員)	・景気は緩やかに良くなっていると感じられるものの、消費に対する慎重さがみられる。
その他レジャー施設 [ 球場 ] (経理担当)	・プロ野球が開幕し、4月には公式戦が予定されているほか、多くのコンサートが開催されるので、多数の来場者数を見込んでいる。
その他レジャー施設 [ 飲食・物販系滞在型施設 ] (企画担当)	・米国の新大統領就任による影響が、国内景気やインバウンドの流れにどのように出るかが、今のところ全く不透明である。
美容室 (経営者)	・近隣の大型商業施設が閉店してから4年。その影響で各商店街はまるで暇になっている。

	その他サービス [ビデオ・CDレンタル] (エリア担当)	・カフェ複合店などの改装によって、店舗全体の売上をカバーしている状況である。
	住宅販売会社 (経営者)	・米国経済の先行きは読めないが、大きく変化することはないように感じる。
	その他住宅 [情報誌] (編集者)	・一次購入者向けマンションの販売価格上昇により、戸建住宅との競合が進む傾向にある。郊外物件については、販売環境が好転する気配は少ない。
	商店街 (代表者)	・昨年に比べてヒット商品がなく、消費者が欲しいと思う物が無い。生きていくためだけの消費には、夢がないと感じる。
	一般小売店 [珈琲] (経営者)	・取引先の経営環境は改善する見込みが薄く、今の状況が続いていく。
	一般小売店 [時計] (経営者)	・今月は良くても、安定した根拠がないため、2~3か月先に同じような数字が上がるとは考えられない。むしろ入園や入学に伴って物入りになるため、時計にお金が落ちることは難しい。
	一般小売店 [花] (店長)	・寒気の影響で、日本海側や北陸からの出荷量が激減している。今後も単価の高騰につながるため、買い控えは避けられない。
	百貨店 (営業担当)	・米国の新大統領の保護主義的な政策の本格化による、グローバル企業の業績不透明感や、円高、株安の動きが懸念される。それに伴い、富裕層の消費の伸び悩みや、更なる節約志向の高まりが予想される。
	スーパー (経営者)	・競合相手の販売方法もディスカウントの傾向にあり、価格競争が厳しくなっている。
	スーパー (店長)	・米国の新大統領による保護主義的な政策が明らかになりつつあり、今後は金融市場が不安定になる可能性が高い。円高、株安傾向となり、経済状況が悪化する懸念がある。
	スーパー (管理担当)	・とにかく米国の動向次第である。
	コンビニ (店員)	・春休みシーズンになれば、また旅行客も多くなるが、近隣で来客数が増えるようなイベントもないため、その後は通常の動きに戻る。
	衣料品専門店 (販売担当)	・米国の新大統領就任により、今後は日本にも影響が出るのではないかと心配している。
	乗用車販売店 (経営者)	・米国の新大統領の内向き指向により、悪影響が徐々に出てくる。
	乗用車販売店 (経営者)	・米国の新大統領による発言で、日本経済も振り回されそうになっている。新政権の方針をしっかりと確認するまで、日本の景気は安定せず、一喜一憂する動きとなる。しばらくは先行き不安のため、消費は刺激されない。
	一般レストラン (経営者)	・世界情勢を含めて、まだまだ不安定なため、消費意欲は高まらない。
	一般レストラン (経理担当)	・米国の新大統領に対し、市場は過剰な期待を寄せており、投機的な動きが続いているように感じる。今年は欧州やロシアの動きも気がかりである。大きな方向性は判明しつつあるものの、まだまだ不透明なため、日本経済の動きも左右される。
	観光型旅館 (経営者)	・客の動きが鈍っている。
	観光型旅館 (経営者)	・例年よりも動きがかなり悪い。
	都市型ホテル (客室担当)	・宿泊の売上に占める、訪日旅行客の割合が高くなってきている。来年度も訪日旅行客は増えると予想しているが、新築ホテルや民泊などの選択肢が増えていることから、稼働率に影響が出ると予想される。
	住宅販売会社 (従業員)	・マンション分譲の市況は不動産投資によって支えられており、株価の動向次第で一気に落ち込む可能性がある。
	住宅販売会社 (総務担当)	・来客数が毎月減少傾向にあり、今後の受注量にも陰りがみられる。イベントなどを実施しても、寒さの影響などで客足が伸びない。
	その他住宅投資の動向を把握できる者 [不動産仲介] (経営者)	・不動産取引件数の減少、金融機関の融資姿勢の厳格化、不動産物件の在庫の増加などで、景気は少し悪くなると思われるが、元々良くはない。
	その他住宅 [展示場] (従業員)	・低水準の住宅ローン金利という追い風はあるものの、新築住宅の取得意欲を喚起するような政策もないため、消費税増税の再延期による様子見状態が今後も続く。
x	一般小売店 [野菜] (店長)	・今後の展開として良い話があるようには思えず、世界情勢も米国、欧州共に、決して良い動きになるとは思えない。安倍政権が動き始めて5年目になるが、今年は株価も下がるなど、厳しい状況が続くそうである。
x	コンビニ (店員)	・客が新しい店に流れてしまう。

	×	衣料品専門店（経営者）	・心理的な不安要素が多い。米国の新大統領のほか、国内でも国会審議などで先行きが不安である。また、様々な要因で消費者の負担増となることも懸念される。
	×	衣料品専門店（経営者）	・客が来店しないため、売場が店員だけになり、ますます入りにくくなって売上が下がる。
	×	その他専門店〔宝石〕（経営者）	・日本に対する、米国の新大統領の方針を考えると、マイナスの影響の方が多くなる。
	×	競輪場（職員）	・良くなる要素が見当たらないので、良くなるとは思えない。
企業 動向 関連  (近畿)		木材木製品製造業（経営者）	・需要に対して供給が間に合わなかったが、徐々に解決が進み、需要量に見合う生産ができるようになったため、今後は販売量が増えていく。
		食料品製造業（営業担当）	・春先に向けた気温の上昇に伴い、飲料の売上が増えてくる。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・現行の試作や受注が伸びていけば、売上、収益共に増えていく。既存の業界は頭打ち状態であるが、業界以外からも引き合いがあり、受注につながり始めているなど、雰囲気は悪くない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・本当は分からないのが本音であるが、とにかく自社の努力や能力に依存する部分が多い。円安が続いていることはありがたい環境であるが、効果が出るまでには時間が必要である。
		建設業（経営者）	・徐々にではあるが、このまま良くなっていくことが予想される。
		建設業（営業担当）	・デベロッパーに限らず、製造業の投資意欲も盛んであり、不動産購入の依頼が多い。今後の欧米の動きが気になるが、当面はこの状態が続く。
		輸送業（商品管理担当）	・2～4月は、新学期などを迎えた引っ越しシーズンとなるので、物流の需要が増える。
		通信業（管理担当）	・米国の新大統領就任による影響が出る。
		広告代理店（営業担当）	・1月だけをみると、上向いてきている。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・世界経済はともかく、国内、特に大阪に関しては引き続きインバウンド効果が続くと思われる。高額な買物は下火になったものの、割安な各地のオリジナル商品といった土産品を中心に、今後も売上は好調に推移する。
		食料品製造業（従業員）	・国内はそれほど大きな動きはないと思うが、先行きは為替の変化や、政治的な動きもあって不透明である。例えば、韓国向けの商品企画も決まっていたが、一時休止の状態が続いている。当社には関係がないと思っていたが、じわじわと影響が出てきている。
		繊維工業（総務担当）	・商品力や営業力というよりも、価格や特典によって販売の活路を見出している。
		家具及び木材木製品製造業（営業担当）	・配達量に変わりはない。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・顧客からは変化につながる情報が聞かれない。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・製薬会社の研究、開発部門の海外移転に伴い、印刷関係にも影響が出ている。また、マーケティング部門の東京移転や組織編成の変更などで、印刷、広告会社の競争も激化している。現在は動向を注視している状況である。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・昨年の11～12月から受注量や販売量が少なくなっている。今年になって米国の新大統領の状況がつかめないが、商売の面でしばらく変化はない。
		金属製品製造業（経営者）	・米国の新大統領の方針次第では、やや波乱もあるが、大きくは変わらないと予想される。
		金属製品製造業（管理担当）	・東京オリンピックやリニアモーターカー関連で、関東方面には物件があふれているが、関西には目立った情報が少ない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・受注状況は少し良くなっているが、一時的な変動ともいえる。しばらくは平均的にみて、景況は変わらないと考える。
		一般機械器具製造業（設計担当）	・多少の上下はあるものの、現状維持ベースに落ち着きそうである。
	電気機械器具製造業（経営者）	・米国の新大統領による政策が読めず、不透明感が漂っている。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	・景気の良くなる材料がない。	
	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・良くなる要因が思い当たらない。	
	輸送用機械器具製造業（経理担当）	・航空機の受注の遅れが気になるところである。相変わらず、中小企業の設備投資意欲は鈍い状況にある。	

	その他製造業 [ 事務用品 ] ( 営業担当 )	・新商品もないので、今までの動きと変わらない。	
	その他製造業 [ 履物 ] ( 団体職員 )	・年始から3日までの百貨店の売上は好調であったが、それ以降は前年割れが続いており、個人消費の低迷が続いている。	
	輸送業 ( 営業担当 )	・先月からの運賃値上げの影響で、荷物の数量は若干減っているが、利益は横ばいである。	
	金融業 [ 投資運用業 ] ( 代表 )	・2～3か月程度では大した影響もないが、米国の好景気が見込まれるなか、日本も追随して景気が上向く。	
	広告代理店 ( 営業担当 )	・年度末までは好調が続く。	
	司法書士	・休日の多い1月は事件数が少なく、また不動産の動きもない。新しい案件が少ないため、現状が維持できればよい。	
	経営コンサルタント	・米国の新大統領就任による相場の変化については、ごく一部の資産家や富裕層を除けば、今のところプラス材料は少ない。	
	コピーサービス業 ( 店長 )	・問い合わせ件数が若干減少気味であり、明るい材料がない。	
	その他サービス [ 自動車修理 ] ( 経営者 )	・忙しくなることもなく、このままの流れが続きそうである。	
	その他非製造業 [ 衣服卸 ] ( 経営者 )	・全体として消費は底堅いと考えられ、あまり大きな変化はないと予想される。	
	その他非製造業 [ 機械器具卸 ] ( 経営者 )	・2～3か月後も、引き合いや見積り依頼、設備の注文などを含め、少ないまま変わらない。	
	食品品製造業 ( 経理担当 )	・国の政策は力強さに欠けるほか、米国の新大統領就任による影響もどう出るかが分からない。	
	繊維工業 ( 総務担当 )	・中間価格帯から低価格帯の靴下も、売上が減少している。消費者の心理として、安くても必要な物にはお金を使わない傾向が出てきたように感じる。	
	化学工業 ( 経営者 )	・新年の挨拶などを聞くと、調子がとても良い会社、普通の会社、とても悪い会社に、極端な形で分かれているが、良い会社でも、先行きは厳しくみていることが多い。今後、景気が良くなりそうな気配は感じられない。	
	化学工業 ( 管理担当 )	・米国の新大統領による保護主義政策や、国産ナフサ価格の高騰で、化学製品の価格が上がるため、消費が落ちると予想される。	
	化学工業 ( 企画担当 )	・年末年始の最需要期にもかかわらず、販売量の伸びが例年を顕著に下回っている。市場での商品価値の低下も顕著であり、特殊な市場での需要を除いて、食品市場は全体的に低迷すると考えられる。	
	電気機械器具製造業 ( 営業担当 )	・受注が伸びてこない。	
	建設業 ( 経営者 )	・公共工事の発注予定が少なくなってきた。今後も期待はできない。	
	広告代理店 ( 営業担当 )	・プレミアムフライデーが始まるが、まだ本格的には始動しないと思われる。気温の低い日が続くため、新しい服を買う気持ちにもならない。また、光熱費や油関連など、生活費で値上げにつながる物も多い。	
	その他非製造業 [ 商社 ] ( 営業担当 )	・製品の価格も底まで下がった感がある。これ以上LEDの発光効率が上がっても、光を伝える新たな手段がなければ意味がない。	
	×	金属製品製造業 ( 営業担当 )	・需要が伸びないなかでの強引な鋼材値上げは、ユーザーに理解してもらいにくいいため、価格転嫁が進まないと予想している。その分はどうしても減益になる。
	×	その他非製造業 [ 電気業 ] ( 営業担当 )	・今後の世界情勢の変化に日本がどう対応するかを含め、非常に大きな問題もあり、先行きは混とんとしている。
雇用 関連 (近畿)	人材派遣会社 ( 支店長 )	・今後は年度末に向けて求人数が増える。	
	人材派遣会社 ( 役員 )	・労働力人口の増加が見込まれる。	
	新聞社 [ 求人広告 ] ( 管理担当 )	・新聞求人からは、景気が良くなる情報を読み取ることはできない。ただし、米国経済に少なからず依存している日本の景気は、米国の景気が良くなれば上向くことが予想される。米国の新大統領が全ての公約を実行できるとは考えられないが、就任早々、自身の政策を進め始めており、一定の実行力があるとみている。主張している財政政策や規制緩和についても、かなりの割合で実行していくことが予想される。	
	職業安定所 ( 職員 )	・管内では、飲食店の出店が数件予定されているが、これは個人消費の持ち直しへの期待が背景にある。また、外国人観光客の宿泊が引き続き多いことから、宿泊業における求人数、求人数共に、高止まりが続いている。	

	人材派遣会社（経営者）	・ほとんどの業種からオーダーが入ってきている。現在は政府関係の入札が活発になっているが、来月には落ち着くと思われる。一方、IT関連の人材不足が目立っている。
	人材派遣会社（営業担当）	・米国の政権交代により、先行きがよくみえない。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・年度末に向けての企業の動きが鈍い。
	職業安定所（職員）	・ハローワークの窓口では、求人数の増加、求職者数の減少が継続しており、雇用失業情勢は改善傾向にある。また、管内事業所への今後の展望についてのヒアリング結果では、現状維持とする事業所が多い。
	職業安定所（職員）	・12月の景況感について、大阪府内の320社にヒアリングを行った結果、1年ぶりにプラス圏となった。従業員の不足感は製造業で若干緩んだものの、非製造業では高止まりしている。3か月後の見通しは若干低下したものの、プラス圏で推移し、ほぼ横ばいとなっている。
	民間職業紹介機関（営業担当）	・新入社員が入るため、求人数の動きが落ち着く。
	学校〔大学〕（就職担当）	・中小企業からの求人数は増えているが、採用予定数に満たなかったためであり、義務感によるものが多い。
	学校〔大学〕（就職担当）	・求人の動きは米国の新大統領就任とは関係がなく、変化が感じられない。
	学校〔大学〕（就職担当）	・求人意欲はまだ高いが、米国の動向によって変化する可能性がある。
	アウトソーシング企業（管理担当）	・通常商品がない時期になるので、イレギュラーの仕事が入らないと暇になる。
	民間職業紹介機関（職員）	・建設業では4月以降、社会保険未完備の会社が下請ラインから排除する措置が取られるほか、日雇いの雇用保険における印紙貼付の厳格化により、末端は労使とも混乱しており、求人を探る傾向が出そうである。
	民間職業紹介機関（営業担当）	・就職サイトへの掲載状況や、合同企業説明会への参加状況が、昨年と比べて悪化している。まだまだ企業の採用意欲は高いが、予算の使い方に変化がみられ、費用をできるだけ抑えて採用したいという企業が出始めている。
x	-	-